

町田おかしの家を支える会

事務局

194-0035・東京都町田市忠生2-7-9「町田おかしの家」内

TEL 042-792-9773 FAX 042-792-9767

今回「愛の鈴通信」の中の「町田おかしの家を支える会 No.60」が、皆様にご覧いただく最後のお便りとなりました。「支える会」が発足してから20年の長い道程も、振り返ってみますといろいろなことがありました。

「バザー」……準備など大変でしたが、保護者の方々との楽しい親睦の場でした。

「親子お楽しみ旅行」……お仕事の中では見られない利用者さんとの楽しいお喋り。

「物品販売」……「町田おかしの家」の販売から「支える会」に託され、右も左もわからぬまま、お客様に失礼の無いよう細心の注意を心掛けながらの作業でした。

「クリスマス会」……テーブル一杯にご馳走を並べ、ビンゴゲームで大盛り上がり！

(このコロナ禍では考えられないほどの盛り上がりでした。)

もう一つ…現在の「町田おかしの家」が新設されるとき、施設建設資金を集める為に市民ホールを貸し切り「川端成道バイオリン・チャリティーコンサート」を開こうと、大きな企画が持ち上がりました。役員もまだ若く、奔走する毎日でした。今思えば「疲れも忘れ乗り切れた」と、過ぎてしまえば楽しい思い出の一つになりました。このように様々な活動が今日まで無事に行われたことは、多くの方々のご協力により成しえたことと感謝しております。

これまで私達役員は、利用者さん方のたくさんの笑顔とパワーを原動力として、「利用者さんの為に」「町田おかしをの為に」一生懸命活動してまいりました。「町田おかしの家を支える会」が終結を迎えることは残念なことですが、これからの「社会福祉法人愛の鈴」発展のためにいたし方ない事と考えます。心の片隅に「町田おかしの家」に「支える会」という小さな支援団体が存在していたなと思っていただくと幸いです。

最後になりましたが、正会員/賛助会員/団体会員の皆様、「支える会」の主旨にご賛同いただき、ご理解とご支援をくださいました事に心より深く感謝申し上げます。

コロナ禍、くれぐれもお身体を大切にお過ごしくださいませ。

「社会福祉法人 愛の鈴 後援会」を令和3年4月に発足させるべく、準備委員会にて話し合いが行われております。同封の「社会福祉法人 愛の鈴 後援会」代表及び法人本部からのお知らせをご一読いただき、今後も「社会福祉法人愛の鈴」にご支援とご協力をお願い申し上げます。

町田おかしの家を支える会 代表 目黒 美智子
役員 一同

「町田おかしの家」を支える会

2020 年度会費納入をありがとうございました

(前月号～2020 年 12 月 26 日現在)

個人会員 敬称略

内田真紀、堆 捷雄、西居睦子、並川淳子、下野 昇、下野寛子

いつもあたたかなご支援、ご協力を
ありがとうございます。

会計担当：小林祐子、藤田律子



2020 年「冬の麺販売」のご報告

冬の麺販売にご協力をいただき、誠にありがとうございました。



麺販売担当者一同

冬の販売の折には、「島原手延べうどん/コシのしっかりした蕎麦」「ちゃんぽん/皿うどん」などをご贈答用に、またご家庭用にとご利用いただき、ありがとうございました。寒い冬のひととき、あたたかく食卓を飾っていただけただけではないでしょうか (^O^)

この度の収益は、178,952 円でした。

この収益は「町田おかしの家」に寄付され、施設の運営に活かされます。障がいをもつ人々の働く場が広がるようご協力をいただきましたこと、心より感謝致しております。



2020 年度にて麺販売の支える会担当を終了いたします。

長い間ご協力をありがとうございました。

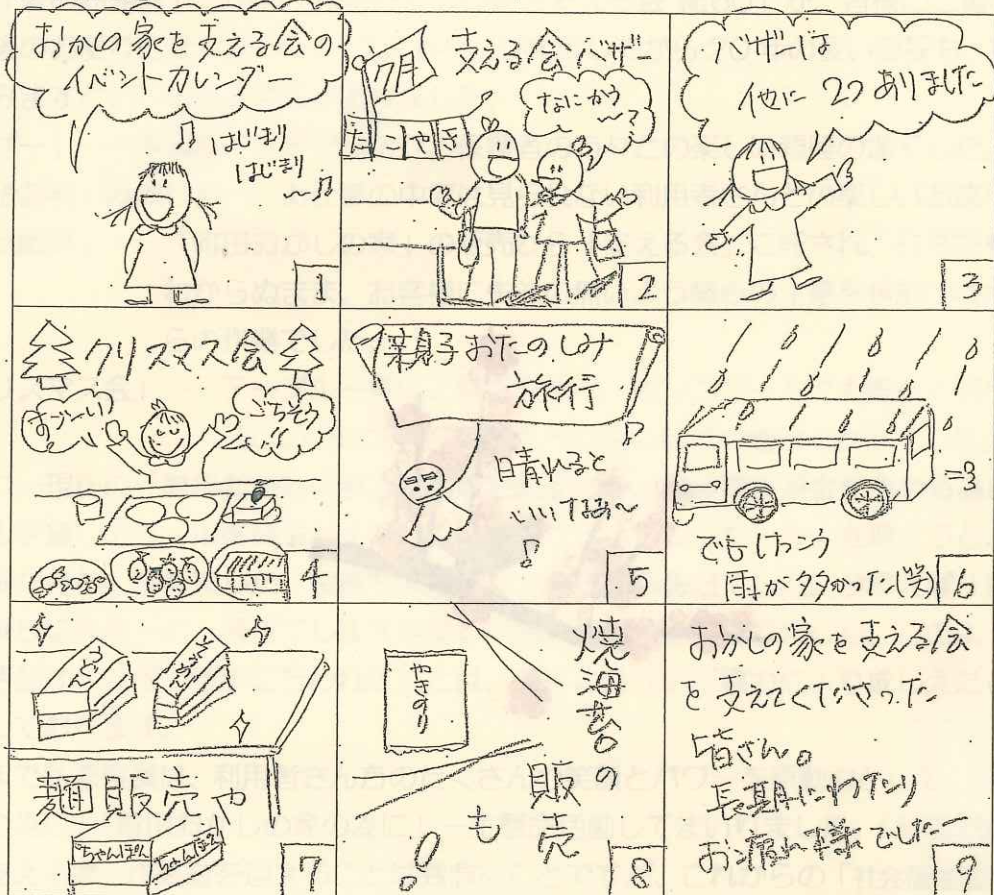
これからも引き続き「町田おかしの家」の物品販売にご協力をいただけます様よろしくお願い致します(^O^)/

#おかしのいえ

社会的には厳しい状況で、外出や生活に気をつかう毎日ですがいかがお過ごしてしょうか。まちだおかしの家を支える会が今年度をもって閉会することになり、このマンガも今回で最終回になりました。皆様には愛読いただき感謝申し上げます。

最後のテーマは、『思い出』にしました。

#『思い出』



思い起こせば、入所して3年。支える会の行事にたくさん参加させていただきました。娘は、支える会の行事が大好きで、仕事の励みにもなっていたと思います。行事の前日は、天気を気にしてなかなか眠れなかったり、「明日は支える会の〇〇があるから！」と話したりしていました。イベントでいただいた景品やプレゼントをカバンにつけてニコニコ微笑み、見返して思い出を語っていました。本当にありがとうございました！

